

令和4年度 新津中央地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

日時：令和4年8月5日(火)14:00～15:00

会場：新津地域交流センター（203・204 研修室）

【出席者】地域福祉活動計画実行委員会：中村会長(コミ協会長)、小野沢委員(コミ協副会長)、本望委員(コミ協事務局長)、辻川委員(コミ協会計)、(敬称略)三澤委員(健康福祉部長、支え合いのしくみづくり会議構成員)、松澤委員(新津中央地区民協会長、支え合いのしくみづくり会議構成員)、山口委員(一小地域教育コーディネーター)、五十嵐委員(新津本町4-2区町内会長)、田村(安達委員(秋葉3丁目町内会長)の代理)、石川委員(吉岡町会長)、池野委員(一中地域教育コーディネーター)、菅井委員(一中地域教育コーディネーター)
秋葉区社協：横山(地区担当)、加藤 SC

【内 容】

課 題	R4年度の取り組み	備考
<p>*高齢化に加え、コロナ禍で行事開催が難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均年齢80歳代で超高齢化が進んでいる。 ・高齢化で老人クラブが無くなっている。 ・町内会等の担い手不足で、運営の引き継ぎができない。 ・日当を出しても協力者が少ない。 ・高齢者が高齢者を支えている現状がある。 ・町内行事への参加者が少ないが、参加したいと思う計画の工夫が必要である。 ・PTAを巻き込んだ活動をしたいが、コロナが収まらないと難しい。 ・できるだけ集まる機会をつくろうと考えている。(秋葉3) ・コロナ禍により納涼会等の行事を中止している。 ・75歳以上の方に、お祝いを持って状況確認をしているが、人に迷惑をかけたくないと思っている方が多い。 ・家族調査をしたところ、65歳以上が40%と高齢化が進んでいる。敬老祝い金の継続が難しくなった為、 	<ol style="list-style-type: none"> 1 緊急情報キット配布及び更新作業の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会との連携 2 ラジオ体操の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会や交流センターでのラジオ体操の継続 ・町内でのラジオ体操の活動を広げていく。 ・体操を通じた健康づくりと住民同士のつながり 3 交流やつながりの機会を検討 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の工夫をした、町内行事を考えていく。 ・PTA、老人会等と連携した交流活動を検討。(環境・花壇整備などを通じた多世代交流) ・敬老会実施に向けた工夫を検討。 ・町内会・PTA・老人クラブと情報交換会の開催 	<p>コミ協(健康福祉部) 自治会・町内会</p> <p>コミ協(地区社協) 自治会・町内会</p> <p>コミ協(地区社協) 自治会・町内会</p>

課 題	R4年度の取り組み	備考
<p>紅白饅頭に変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者が32名。登録しない人を含めると60名になる。対象者の声を確認すると、隣りに見て欲しくないという声が大半だったが、災害時はそう言うてはいられない。考え方を町内の広報で伝えた。(吉岡町) 避難行動要支援者にとって、交流センターまでは遠い。どう動けば良いか。避難行動要支援者の関係を考える必要がある。(下興野町) ゴミ出しに困っている人が多く、市の「ゴミ出し支援事業」の補助金を利用した助け合いをR3年度より始めた。(秋葉3) 過去に子どもを巻き込んだゴミ出し支援をしたが、保護者からの意見があり、町内全体で行うことになった経緯がある。(善道町1) 三之町付近の空き店舗の目途がついてきた。今後、買い物に困っている人の対応ができるように感じる。 町内会の中で積極的な支援等はしていないが、民生委員と情報交換会をしながら活動をしている。(町内会費が難しい世帯は免除にするなど) コロナで空き缶集めが難しくなっている。新津まつりの松坂踊りに参加する子どもたちは楽しみにしている。 町内会と地域子ども会がつながることが大事だと思う。 	<p>4 防災訓練等の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動会と併せた防災訓練を継続し、多世代交流を図る。(下興野町) 災害時における避難行動要支援者の支援の取り組みを継続(吉岡町) 防災訓練の実施。中央コミ協と地域との連携した取り組みを検討 <p>5 生活支援の継続及び検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミ出しの助け合いの継続(秋葉3、善道町1) 除雪の助け合い活動を持続する為の検討(善道町1) 除雪の助け合い活動の継続(秋葉3) <p>6 フレイル予防の取り組みの継続</p> <ul style="list-style-type: none"> フレイル予防教室の参加を促し、高齢者の介護予防意識を高める。(フレイルチェック、食事など) 民協と連携し、高齢者へのPRを広げる。 <p>7 「自学ひろば」の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> コミ協、学校支援会、一小との連携 子どもの居場所として良い活動となっている。 <p>8 地域と学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども達の地域活動への参加を広げ、多世代交流を進める。 一中の「地域子ども会」でPRの機会をつくる。地域教育コーディネーターが地域と学校とのパイプ役を担う。 	<p>自治会・町内会 コミ協(地区社協)</p> <p>自治会・町内会</p> <p>コミ協(健康福祉部)</p> <p>コミ協(地区社協)</p> <p>コミ協(地区社協)</p>

課 題	R4年度の取り組み	備考
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールが始まる意味でも、地域と学校のつながりが更に重要になってくる。 ・空き家が増えている。 	<p>(子どもたちは地域参加に前向きである。一中としても、地域のクリーン作戦や祭りの参加を推奨している。)</p> <p>9 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会と民生委員との連携が大事(田家2) 	